

不安の高い児の実態と支援/幼児のことばの発達に関する調査

この度は調査へのご協力ありがとうございます。

- この調査は、「【1】不安の高い児の実態と支援【2】幼児のことばの発達」について調べることを目的としたものです。
- 調査対象者は、4歳児クラス担任の先生です。回答時間はおよそ15-20分です。
- 回答は任意です。同意いただける方のみご回答ください。また途中で調査を辞退することも可能です。それにより不利益を受けることは一切ありません。
- 正しい答え・間違った答えなどはございませんので、思った通りにお答えください。
- 回答は統計的に処理され、個人が特定・公表されることは一切ありません。また、結果につきましても学術的な目的以外に使用いたしません。
- 得られたデータはセキュリティ HDD および鍵のかかる保管庫にて厳重に保管し、研究が終了し一定年数の経過後安全に破棄いたします。
- それぞれの質問をよく読み、該当する選択肢に○、または空欄に必要事項を記入してお答えください。ご回答もれのないようお願いいたします。 東京都立大学 田中里実/東京学芸大学・橋本創一

【フェイスシート】ご回答される先生についてお答えください。

①経験年数 () 年

例) R5年4月から勤務の場合→2年

②保有資格

幼稚園教諭 ・ 保育士 ・ 小学校教諭 ・ 特別支援学校教諭 ・ 中学校教諭 ・ 高等学校教諭 ・ その他 ()

【1】不安の高い児の実態と支援に関する調査

【クラス全体に関する質問】

※異年齢混合クラスの場合は、4歳児だけでなくクラス全体についてお答えください。

①クラスの在籍児数 () 人

先生からみて支援を必要とする幼児の人数 () 人

上記支援を必要とする児のうち、障害の診断がついている幼児の人数 () 人

②支援員・介助/介護員（※学生ボランティア等を含む）の配置（どちらかに○） 0.なし ・ 1.あり

<ありの場合>週 () 時間程度

支援の中心（最も近いものに○） 特定の幼児 ・ クラス全体 ・ その他 ()

【不安の高い児に関する質問】

「不安」は、さまざまな場面や事柄において漠然とした不安が高い場合、社会的な場面や事柄について不安が高い場合、ある事柄等に対する不安にずっととらわれて考えが止まらなかつたりそれを払拭するための行動にとらわれたりする場合、特定の事柄について強い不安を感じる場合、保護者を中心とした特定の対象から分離することに不安を感じる場合等、その様態はさまざまです。

このような様態を想定いただき、先生のお考えで構いませんので、以下の質問にお答えください。

①担任されているクラスに、先生からみて「不安が高い」特徴があると感じる幼児は何名いますか。

()人

②これ以降の質問は、先生からみて「不安が高い」特徴があると感じる児のうち、特にその特徴が顕著である幼児を1名想定してお答えください。現在、該当する幼児がいない場合は、過去に担当した幼児(3-5歳児)でも構いません。

※あてはまるものに○→ **現在のクラス** ・ **過去に担当したクラス**

当該幼児の医学的診断(どちらかに○) あり ・ なし

<ありの場合>あてはまるものすべてに○をしてください。

全般性不安障害(全般不安症) ・ 社交不安障害(社交不安症) ・ 強迫性障害(強迫症) ・

限局性恐怖障害(限局性恐怖症) ・ 分離不安障害(分離不安症) ・ PTSD ・

自閉症スペクトラム障害(自閉スペクトラム症) ・ ADHD ・ 知的障害 ・

その他()

専門機関等の利用状況(あてはまるものに○) あり ・ なし

幼稚園 ・ 保育所を休んで児童発達支援等の療育機関を利用 ・ 幼稚園・保育所のない時間帯/日に児童発達支援等の療育機関を利用 ・ 医療機関を利用(発達面に関わって) ・

その他()

③当該幼児のどのような行動・言葉・様子を見た時に、「不安が高い」特徴があると感じますか。

④以下の項目について、現在または過去6ヶ月以内の当該幼児の様子にどの程度あてはまりますか。もし、その場面を見たことがない場合には、これまでに保護者の方から得ている情報や学校における当該幼児の様子から想定してお答えください。

◀ 0.まったくあてはまらない ・ 1.ややまたはときどきあてはまる ・ 2.よくあてはまる ▶

1.	心配することをやめられない	0 ・ 1 ・ 2
2.	他の人の前でばかなことをしてしまうのではないかと心配する	0 ・ 1 ・ 2
3.	正しくやったか何度も確認する(例えば、ドアを閉めたか、蛇口を閉めたかなど)	0 ・ 1 ・ 2
4.	心配すると緊張したり、落ち着きがなくなったり、過敏になったりする	0 ・ 1 ・ 2
5.	大人(例えば、保育園や幼稚園の先生)に助けを求めるのをこわがる	0 ・ 1 ・ 2
6.	保護者なしで寝ることや、家を離れて寝ることをいやがる	0 ・ 1 ・ 2
7.	高いところをこわがる	0 ・ 1 ・ 2
8.	心配のせいでよく眠れない	0 ・ 1 ・ 2
9.	毎日、繰り返し手を洗う	0 ・ 1 ・ 2
10.	混雑したところや、狭い場所をこわがる	0 ・ 1 ・ 2

11.	見知らぬ人と会うことや話すことをこわがる	0 ・ 1 ・ 2
12.	両親に何か悪いことが起こるのではないかと心配する	0 ・ 1 ・ 2
13.	雷をこわがる	0 ・ 1 ・ 2
14.	いろいろなことを心配して、一日の大半を過ごす	0 ・ 1 ・ 2
15.	組（同年代のグループ）のみんなの前で話すことをこわがる（例えば、発表するなど）	0 ・ 1 ・ 2
16.	何か悪いこと（例えば、迷子や誘拐など）が起きて、保護者に二度と会えないかもしれないと心配する	0 ・ 1 ・ 2
17.	水泳に行くことに神経質になる	0 ・ 1 ・ 2
18.	悪いことが起きないように、正しい順序や位置に物を置かなければならないと思っている	0 ・ 1 ・ 2
19.	他の人の前で恥ずかしいことをしてしまうのではないかと心配する	0 ・ 1 ・ 2
20.	昆虫および／またはクモをこわがる	0 ・ 1 ・ 2
21.	悪い考えや、ばかげた考え、あるいは悪い想像を繰り返す	0 ・ 1 ・ 2
22.	保育園や幼稚園／学校で、保護者から離れることをいやがる（またはベビーシッターと一緒にいるのをいやがる）	0 ・ 1 ・ 2
23.	子どもたちのグループや活動に参加しようとするのをこわがる	0 ・ 1 ・ 2
24.	犬をこわがる	0 ・ 1 ・ 2
25.	保護者と離れ離れになってしまう悪夢をみる	0 ・ 1 ・ 2
26.	暗闇をこわがる	0 ・ 1 ・ 2
27.	悪いことが起きないように、頭の中で特別なこと（例えば数字や言葉）を考え続ける	0 ・ 1 ・ 2
28.	必要がないと思われるときでも、安心感を求める	0 ・ 1 ・ 2

⑤以下のそれぞれの質問項目について、当該幼児の様子にどの程度あてはまりますか。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。ここ半年くらい、あるいはこの年度中の行動について答えてください。

《 0.あてはまらない ・ 1.まああてはまる ・ 2.あてはまる 》

1.	他人の気持ちをよく気づかう	0 ・ 1 ・ 2
2.	おちつきがなく、長い間じっとしてられない	0 ・ 1 ・ 2
3.	頭がいたい、お腹がいたい、気持ちが悪いなどと、よくうったえる	0 ・ 1 ・ 2
4.	他の子どもたちと、よく分け合う（おやつ・おもちゃ・鉛筆など）	0 ・ 1 ・ 2
5.	カッとなったり、かんしゃくをおこしたりする事がよくある	0 ・ 1 ・ 2
6.	一人でいるのが好きで、一人で遊ぶことが多い	0 ・ 1 ・ 2
7.	素直で、だいたい大人のことをよくきく	0 ・ 1 ・ 2
8.	心配ごとが多く、いつも不安なようだ	0 ・ 1 ・ 2
9.	誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける	0 ・ 1 ・ 2

10.	いつもそわそわしたり，もじもじしている	0 ・ 1 ・ 2
11.	仲の良い友だちが少なくとも一人はいる	0 ・ 1 ・ 2
12.	よく他の子とけんかをしたり，いじめたりする	0 ・ 1 ・ 2
13.	おちこんでしずんでいたり，涙ぐんでいたりすることがよくある	0 ・ 1 ・ 2
14.	他の子どもたちから，だいたいは好かれているようだ	0 ・ 1 ・ 2
15.	すぐに気が散りやすく，注意を集中できない	0 ・ 1 ・ 2
16.	目新しい場面に直面すると不安ですがりついたり，すぐに自信をなくす	0 ・ 1 ・ 2
17.	年下の子どもたちに対してやさしい	0 ・ 1 ・ 2
18.	よく大人に対して口答えする	0 ・ 1 ・ 2
19.	他の子から，いじめの対象にされたり，からかわれたりする	0 ・ 1 ・ 2
20.	自分からすすんでよく他人を手伝う（親・先生・子どもたちなど）	0 ・ 1 ・ 2
21.	よく考えてから行動することができる	0 ・ 1 ・ 2
22.	他の人に対していじわるをする	0 ・ 1 ・ 2
23.	他の子どもたちより，大人といる方がうまくいくようだ	0 ・ 1 ・ 2
24.	こわがりで，すぐにおびえたりする	0 ・ 1 ・ 2
25.	ものごとを最後までやりとげ，集中力もある	0 ・ 1 ・ 2

⑥先生からみて、当該幼児の園生活の各場面における困難の**程度**と困難が生じる**頻度**はどの程度ですか。強さ（上段）と頻度（下段），それぞれ**最もあてはまるもの1つ**に○をしてください。

※その場面がない（例：お昼寝のない幼稚園）はその項目を飛ばして回答ください。

登園時	0.強くない ・ 1.それほど強くない ・ 2.強い ・ 3.とても強い
	0.全く生じない ・ 1.時々生じる ・ 2.やや生じる ・ 3.非常に生じる
午前中の自由遊びの時間	0.強くない ・ 1.それほど強くない ・ 2.強い ・ 3.とても強い
	0.全く生じない ・ 1.時々生じる ・ 2.やや生じる ・ 3.非常に生じる
朝のあつまり	0.強くない ・ 1.それほど強くない ・ 2.強い ・ 3.とても強い
	0.全く生じない ・ 1.時々生じる ・ 2.やや生じる ・ 3.非常に生じる
一斉活動	0.強くない ・ 1.それほど強くない ・ 2.強い ・ 3.とても強い
	0.全く生じない ・ 1.時々生じる ・ 2.やや生じる ・ 3.非常に生じる
お弁当・給食の時間	0.強くない ・ 1.それほど強くない ・ 2.強い ・ 3.とても強い
	0.全く生じない ・ 1.時々生じる ・ 2.やや生じる ・ 3.非常に生じる
お昼寝の時間	0.強くない ・ 1.それほど強くない ・ 2.強い ・ 3.とても強い
	0.全く生じない ・ 1.時々生じる ・ 2.やや生じる ・ 3.非常に生じる
お着替えの時間	0.強くない ・ 1.それほど強くない ・ 2.強い ・ 3.とても強い
	0.全く生じない ・ 1.時々生じる ・ 2.やや生じる ・ 3.非常に生じる
午後の自由遊びの時間	0.強くない ・ 1.それほど強くない ・ 2.強い ・ 3.とても強い
	0.全く生じない ・ 1.時々生じる ・ 2.やや生じる ・ 3.非常に生じる
帰りのあつまり	0.強くない ・ 1.それほど強くない ・ 2.強い ・ 3.とても強い
	0.全く生じない ・ 1.時々生じる ・ 2.やや生じる ・ 3.非常に生じる
運動会などの行事	0.強くない ・ 1.それほど強くない ・ 2.強い ・ 3.とても強い
	0.全く生じない ・ 1.時々生じる ・ 2.やや生じる ・ 3.非常に生じる

⑦「不安の高い」幼児を支援する上で、先生が困難を感じていることや望むサポートがあれば教えてください。

【2】 幼児のことばの発達に関する調査

1. 幼児のことばの発達を促すために、普段の生活での挨拶場面や日常のルーティン場面（朝帰りの支度、食事、お散歩など）、要求場面や自由遊び、集団活動場面などで行っている工夫を教えてください。

(1) 当てはまる項目に○をして下さい。(複数回答可)

- ①子どもの音声や言葉をそのままねる。
- ②子どもの行動や気持ちなどを言語化する。
- ③大人自身の行動や気持ちなどを言語化する。
- ④子どもの発音、意味、文法、使い方等の様々な言い誤りに対して、正しく言い直して返す。
(例：子どもの「(ヒ) コーキ」に対して、否定することなく「飛行機だね」と返す。)
- ⑤子どもの言った言葉を意味的あるいは文法的に広げて返す。
(例：子どもがぬいぐるみを抱いて「わんわん」と言ったことばに対し、「わんわん、だっこ(した)ね」と返す。例：子どもが「あめ」と言ったことばに対し、「あめがしとすとふっているね」と返す。)
- ⑥子どもの話題に沿いながら、子どもの行動や新しい言葉のモデルを示す。
(例：子どもがおやつを食べているときに、「もぐもぐおいしいね」とことばを掛ける。例：子どもが別の子どものおもちゃを横取りしたとき、「かして、だね」とことばを掛ける。)
- ⑦オノマトペを多用する。
- ⑧手遊び歌やリズム遊びをする。
- ⑨ことばに動作を伴わせる。
- ⑩ことば遊びをする。
- ⑪決まったフレーズや決まり文句を取り入れる。
- ⑫経験したこととイメージがつながるようなことばがけをする。
- ⑬子どもの興味や関心を示すものをわかりやすく配置する。

(2)(1)で選んだ項目のほか、特定の場面において行っている工夫を教えてください。

() 場面

〈幼児のことばの発達を促すために行っている工夫(自由記述)〉

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。